

こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 185 2014.6.29 連絡先 402-1622 >



和歌山市長選に中津たかし氏擁立

活気ある住みよい和歌山市をつくる会 日本共産党推薦



1947年8月25日和歌山市生まれ。和歌山県立農業大学校卒。現在 全国・県農民連顧問。

活気ある住みよい和歌山市をつくる会（市つくる会）は19日、記者会見を行い、市長選挙に中津たかし氏を擁立することを発表しました。

つくる会が取り組んだ市民アンケートには、3445通（18日現在）もの回答が寄せられ、記者会見で中津氏はその中身を紹介しながら「市民の切実な要求実現にがんばるのが市長の役割。市民に寄り添い、市民が主人公を貫く」と決意を述べました。

市つくる会と中津氏が調印した政策協定は、憲法をくらしにいかすことや市政への市民参加などの基本姿勢とともに、医療・介護・福祉の充実、地元中小企業・業者の支援、農業・漁業の振興、子どもの医療費補助の拡大、教育条件の整備、防災対策、環境整備、山口地区に計画されている産業廃棄物処理場反対、原発ゼロ、不公正な同和行政の終結などの共同目標をかかげています。

日本共産党は中津たかしさんを推薦して選挙をたたかいます。

自然の中で
は誰も助け
くれないの
から人間は
見守りに徹
ます。
成せば成
れぬ成ら
ず
行きてく
れませんでした。



みち子のひとりごと 亀吉クン

市議団控室にいるカメの亀吉クン。季節が移ってからは、動きが活発になっていきます。
ある日のこと、水から上がると水槽の横に置いてある石をめがけてのそのそ。水槽の縁に前足をかけ、よいしょ。しかし肝心の石にはまだ届きません。首を思い切り伸ばし、後ろ足で水槽を蹴るものの、プラスチックのためか滑るばかり。
さらに首をのぼし気持ちは前へ、でも前足は空をかくのみ。しばらくくがんばっています。しばらくがあきらめて休憩。何度か何度かくりかえし、やっとならなりました。

こんにちは加藤なおとです



後援会の人とてく地域を歩いて回ったときのことだ。古いアパートの入り口辺りに空き缶、廃品が積みまれている。ゴミ屋敷と化している家の前を通り、隣を訪問。するとある時から、廃品を積んだ家人が追いかけて来て、「何しにきた」と大声で我々を威嚇する。「共産党で挨拶に回っている」と答えるも話が通じない。領域を介入さ

れたと思つたのだらう。攻撃的である。近所からはおそろく疎まれていある。わざわざ文句をつけに出て来るところを見ると、この人は「さびしい」のでは？ 周りを「困らせている人は実は困っている人」とよく言う。最後は捨て台詞を残して去って行かれた。浮いた存在にさせないで忍耐強く、関わり続ける専門家がソーシャルワーカーとよばれる人だ。むつかしいが価値ある出番がある。

森下さち子議員の一般質問から 学童保育：5つの改善を要求

森下議員は、学童保育は共働き、一人親家庭などの小学生の放課後の生活を保障するとともに、保護者の働く権利と家族の生活を支える目的をもっていると述べ、現状の学童保育は必要な子どもが利用できていないとして、待機児童、3年生までしか利用できない、保育時間が短い、土曜に開設してほしい、指導員の待遇が劣悪だと指摘。

2012年8月に子ども・子育て関連3法が成立、対象を6年生まで引き上げることや開設日、開設時間、施設の基準を条例化することが義務づけられ、2015年から本格実施する計画であることから、市の対応を質しました。

南畑さち代議員の一般質問から 滝畑の産廃処分場計画は断念すべき

南畑議員は、滝畑では今、ホテルが元気に飛び交っていると述べ、この自然環境が守られる事を願うとし、産廃処分場計画は、飲料水・農業用水の汚染、大規模な森林伐採による洪水の不安、有害物質混入の危険や地滑りの危険、資本金が100万円で産廃事業未経験の事業者であることなどから、和歌山市や阪南市民からも計画を断念すべきだとの声が広がっていることを指摘。事業者が提出した生活環境影響調査事前計画書等について、市の対応を質しました。

学習決起集会

憲法がいきる市政を

7月5日(土) 13:30 ~ 15:00

地場産業振興センター5階(紀三井寺)



活気ある住みよい和歌山市をつくる会
和歌山市湊通丁南1丁目1-3 名城ビル内